

# 湯沢学園学校運営協議会だより

第1号  
発行日 R5. 7  
学校運営協議会事務局

## ～学校運営協議会とは？～

学校運営協議会とは、湯沢町の様々な団体の代表者が集まり、湯沢学園について考える会のことです。いわば、湯沢学園の応援団です。簡単な図にすると、次のようになります。



それぞれの力を結集し、子どもを核とする「地域の学び舎」としての学校を目指す

- ・学校が責任を持って
- ・保護者が責任を持って
- ・地域が責任を持って
- ・町全体で子どもを育てる

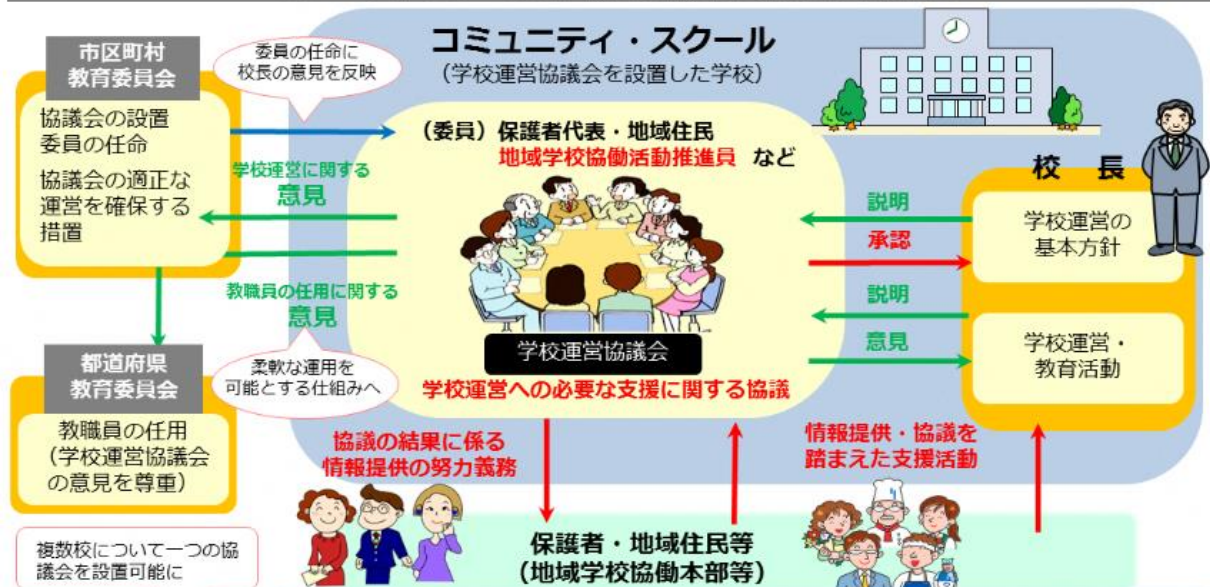
未来の担い手を育てる  
湯沢町を元気にする



## 具体的にこんなことをしていきます！

- 1 校長のビジョンを受け、内容を共有します。
- 2 「学校を知る」ために・・・  
○学校行事等に参加します。  
○子どもの現状と課題などについて学び、対策等を協議します。
- 3 学校関係者（教職員や子どもなど）との交流機会をもちます。
- 4 学校や地域の願いにこたえる活動を検討し、地域学校協働活動につなげます。
- 5 広報活動を行います。 ※昨年度は運営協議会だよりを2号発行しました。

## コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



### <学校運営協議会の主な役割>

地教行法第四十七条の五

教育委員会が、学校や地域の実情に応じて学校運営協議会を設置

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができること
- 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができること

## 活動紹介 あいさつ活性化

学校運営協議会では「あいさつあられる湯沢町」を目指しています。

湯沢学園では、「笑顔で！元気な声で！目を見て！誰にでも！自分から先に！」という5つのポイントを掲げ、子どもたちが積極的なあいさつを心掛けています。湯沢町があいさつでいっぱいになり、温かい気持ちの子どもが育ち、おもてなしの心あられる町となるよう、保護者と地域の皆様にも例年次のような御協力をお願いしています。



- 家庭で 毎日のあいさつを大切にしましょう！
- 町内で 出会った人に必ずあいさつをしましょう！
- 職場で おもてなしの心あられるあいさつをしましょう！
- 子どもたちに 積極的にあいさつし、手本を示しましょう！
- よいあいさつの子を進んでほめましょう！

【あいさつ運動ポスター配布しています！】

湯沢学園学校運営協議会では、あいさつを広げるための啓発活動の一環として、町内の事業所等に文書を配布し、あいさつポスターを掲示していただいております。

御希望の方には差し上げますので、下記連絡先まで御連絡ください。

連絡先：事務局 025-784-3444（中学校教頭 山本）

## こんな話し合いをしています！～第2回学校運営協議会で話し合った内容～

### ①協議会の名称変更の熟議

学校運営協議会という名称からコミュニティスクールという名称への変更を提案。この組織に愛着をもって、親しみのある協議会にしたいという事が目的。一方でここ数年コロナ禍であまり活動ができなかった。今年度からコロナ禍前の活動を取り戻しつつある中で、今名称を変更すると協議会委員を含め混乱を招くのではないかという懸念もある。

→多数決の結果、名称は変更せず「湯沢学園学校運営協議会」のまま保留。

### ②「協働推進部会」の導入についての熟議

過去の協議会の議事録から現状の課題として、地域コーディネーターを中核とした協働組織の必要性を感じた。現状、地域コーディネーターとは別に地域学校協働活動を推進する立場、役割の人が不在である。福祉フェスティバル等の地域と学校が連携して活動を行っていく際に、この協働推進部会が推進役を担う。具体的に、この部会は学校運営協議会で決定した方針に従い取組を進めていく。活動内容においては、協議会において報告を行う。地域学校協働活動の地域社会と関わる教育課程の企画、地域資源（人・もの・こと・課題等）の掘り起こしに務める。以上の目的のために活動を行うこの組織の結成を提案する。

→多数決にて組織の結成は可決。名称は「協働活動推進部会」に変更。部員は立候補。

### ③拡大学校運営協議会（教員版）の実施計画

今年度は、教職員と協議会委員で教育現場の課題の掘り起こしを目的とした熟議を行う。背景としてコロナ禍による教育環境の激変により、教員の業務負担の増加、様々な行動制限による子どもたちへの心理面への影響、教員・保護者との間のコミュニケーションの大幅な減少など様々な課題が存在する。そうした中で、教育現場で抱える課題を協議会と熟議し、現場目線からの優先的課題を共有し、教職員の負担軽減につながる施策を検討する機会とする。

→8/8(火)に拡大学校運営協議会として実施。

### ④福祉フェスについての熟議

福祉フェスティバルの会議が6月23日に行われる予定。そこで各ボランティア、企業団体からの提案を受けて子どもたちがどのように関わられるかを検討していく。福祉フェスティバルで発表する内容（自由研究や体験活動）を学校の夏休みの宿題として提示し、子どもたちの活動を地域に発信できたら良いと考えた。社会福祉協議会から夏休みのボランティア体験募集のチラシを配布する予定。その体験活動を夏休みの宿題として扱い、福祉フェスティバルの発表までつなげていく。そういった取組にできるように今後検討していく。

→夏休みの宿題の「選択課題」としてボランティア活動を設定した。また、吹奏楽部の出演が決定している。発表、展示物等は現在調整中。